

上越市長 木浦正幸 様

## 市政に対する要望書

2006年12月27日  
日本共産党上越地区委員会  
委員長 阿部正義

日頃、市政発展のためにご努力いただいていることに感謝いたします。

14市町村が合併して2年が経とうとしております。小泉首相から安倍首相に替わりましたが、大企業と大金持ちを優遇する一方で、増税をはじめとした庶民の暮らしを破壊する政治がますます強まっております。地方自治体が「地方自治の本旨」に基づき、住民自治の発展と住民の福祉と暮らしを守る防波堤の役割を果たすことが、ますます求められております。

そうした状況の下で、住民の皆さんから多くの要求・要望が寄せられております。これらを取りまとめましたので、ぜひとも実現していただきたく、要望するものです。

### I. 市政全般について

1. 自治基本条例を住民の合意を基本にして制定すること。
  - ① 基本的には、合併協議の際の小委員会報告の確認事項を尊重すること。
  - ② 「合併後の新しい上越市の自治の在り方については、できるだけ早く市民が共通認識を共有することが重要である」(小委員会報告)ので、「合併後の新しい上越市の自治の在り方について」共通認識を共有し、これを前文及び理念の中に明記すること。
  - ③ 常設型の住民投票条例を設けること。
  - ④ 都市内分権は、「合併後の新しい上越市の自治の在り方」そのものであることを明確にすること。
  - ⑤ 市民へ直接、議論の内容を報告する場を設けること。
2. 地域自治区・地域協議会を恒久的な制度として確立すること。
  - ① 旧上越市の地域への設置に当たっては、住民と充分協議し、合意のもとで進めること。
  - ② 13区には、進んでいるところとそうでないところがあるが、各区の経験を交流するなど、全体として進むよう配慮すること。
3. 新市建設計画・第5次総合計画の見直しを行うにあたって、無理な計画を持ち込まないこと。

- ① 見直すまでの間、現在の新市建設計画、とりわけ財政計画を忠実に実行すること。
  - ② 地域事業は、各区の固有の事業であるが、新市全体のバランスを考え、調整すること。
4. 不正献金問題を一刻も早く解明すること。
- ① 質疑や委員会審議で約束した調査と報告を早急に行うこと。
  - ② 不正献金については、法的対応を提起すること。

## Ⅱ. 北陸新幹線と並行在来線について

1. 北陸新幹線開業後の並行在来線の存続を国県に働きかけること。
- ① 並行在来線は、県が責任を持って存続するよう強力に働きかけること。
  - ② 政府与党合意のもとでは並行在来線の存続が難しいので、その枠組みを廃棄し、JRと国の責任で存続するよう働きかけること。
  - ③ ほくほく線の高田駅までの乗り入れ、将来的には新幹線駅、あるいは妙高高原駅までの乗り入れを図ること。
  - ④ 新幹線開業後、新潟方面への快速や特急などの増発でアクセスを容易にするよう働きかけること。

## Ⅲ. 福祉・暮らし・保育・教育について

1. 障害者自立支援法について
- ① 利用者や作業施設を設置する団体等の悩みや苦情を受ける専門の相談窓口を設置すること。
  - ② サービスが低下しないようにするために市独自の利用料の減免制度以外にも対策をすること。
  - ③ 応益負担などの影響や実態把握の結果をから明らかになった問題点などを国に要望すること。
  - ④ 障害者自立支援という名目での医療費の値上げは困る。生活していけない。補助制度を拡充してほしい。
2. 介護保険制度について
- ① 要支援認定者等で車椅子やベッドを利用できなくなった人に対して、改善の手立てを講じること。
  - ② 居宅介護の住宅改修費や福祉用具購入費等の受領委任払いを早期に実施すること。
  - ③ 1000人を超える待機者がいるが、今後の施設建設をどのように進めていくのか、計画を立案し、公表すること。
  - ④ 介護保険料、利用料の助成事業の対象枠を拡充すること。
3. 保育・学校教育について

- ① 保育園の民営化は行わないこと。
  - ② 保育料は、税制改正の影響を受けないように設定すること。
  - ③ 学校経費の保護者負担を軽減すること。
  - ④ 学校給食における地場産食材の利用を更にすすめ、地域産業の発展につなげるこ  
と。
  - ⑤ 学校給食調理については民間委託の動きがあるが、これは試行を含め、問題があ  
るので中止すること。
4. 国保税を引き下げること。
  5. 冬期間だけの老人アパート設置を図ること。
    - ① ディサービスセンターの前か近くに高齢者向けアパートをつくってほしい
  6. 生ゴミ対策としてコンポスト、電動ゴミ処理機などの普及促進にむけて助成をするこ  
と。
  7. 乳癌は女性に一番多い癌だが、対象年齢を40歳以下に下げしてほしい。
    - ① 富山県からこちらに来たが、妊婦検診は1500円だった。上越市になったら5  
000円、少子化対策を言うならもっと下げてほしい。
  8. 県立病院(柿崎、松代)を存続するよう、県に働きかけること。

#### IV. 観光施策について

- ① 「きらっと光る上越歴史散歩」を充実、発展させること。
- ② 信越トレイルを巡るハイキング・トレッキングを各区で独自に計画・実行してい  
るが、全体を統合して一つのイベントとして拡充できないか。
- ③ 信越トレイルの各峠へのアクセスが問題になっている。土日祝日などに観光協会  
などと連携して、総合事務所と峠間に送迎バスを運行できないか。

#### V. 農業問題・過疎対策など

1. 現在の原材料支給を発展させ、行政と地元町内会の協働による「手づくり市道整備事  
業」（仮称）を創設すること。
2. 農業労働災害対策を強化するため、安全パンフレット作成、反射板などについて予算  
の手当をすすめること。
3. 限界集落対策を重視し、06年度の調査を活かし、今後の対策の研究についても目を  
向けること。
4. 過疎地の住民の足を確保するため、本格的な対策に乗り出すこと。
5. 冬期保安要員設置を継続し、対象集落を増やすこと。
6. 農業経営の担い手については、国の担い手要件を満たす経営体だけでなく、すべての  
意欲ある農家、農業組織を含め、支援をしていくこと。

## VI. 安全・安心対策について

1. 消防団員確保が困難になってきている中で、初期消火活動が大切になってきているので、消火器や消火栓の配置がいまのままでいいか、検討し、充実を図ること。
2. 原発事故から市民の命と安全を守るため、安定ヨウソ剤の配備について工夫するとともに、放射能測定器などの設置を図ること。
3. 見通しの悪いところの市道の草刈については、年2回ではなく、3回にすること。
4. 防犯灯設置必要ヶ所はまだある（例えば、吉川区下町一小苗代間）ので増設し、児童生徒など市民の安全を確保すること。

### 吉川区

1. 頸北地域の住民の運転免許証更新手続きは、柿崎区の交番に定期的に出張するよう県警に再度申し入れること。それが実現しない場合は、市の責任で上越警察署まで定期的にマイクロバスを運行するか、どちらかの支援をすること。
2. 吉川区の石谷簡易水道の水源を確保するため支援の手をさしのべること。
3. 道路改良など
  - ① 2級河川（大出口川、吉川、平等寺川、玄僧川など）の草刈り、雑木の除去、河床掘削について促進するよう県に働きかけること。
  - ② 県道川谷十町歩線名木山地内の地すべり防止工事は応急措置だけでなく、抜本的な対策をするよう県に働きかけること。
  - ③ 05年6月の梅雨前線豪雨による県道、市道の細かな災害復旧がすすんでいないので、手立てを講じること。
  - ④ 新井柿崎線の改良整備を県に働きかけること。

### 頸城区

1. 敬老会のサービスが低くなった。楽しみに出席できるように改善してほしい。
2. 頸城のあやめバスを存続してほしい。上越市との交通の便を良くしてほしい。
3. 道路改良など
  - ① 飯田・村中線は地域にとって大事な道路。狭く砂利道で除雪も困難。改良してほしい。
  - ② 鶉の木南側の道路に用水の排水溝があるが、蓋がないために車が落ちることが多い。修繕してほしい。
  - ③ 県道潟町・長坂線の柳町近辺の側溝を早く完成させてほしい。
  - ④ 下柳町のお宮さん経由の集落道を整備してほしい

- ⑤ ふぶき防止の策を増やしてほしい。特に柳町・宮原間。
  - ⑥ 旧上越市との境界にある水路が雨であふれる。
  - ⑦ 上三分一集落とくびきの森自然公園の間の道路は街灯が無く夕方になると真っ暗。脇が林なので気持ちが悪い。安全上からも街灯をつけてほしい。
  - ⑧ 玄僧と吉川とのバス連絡ができないものか。
4. 情報提供の改善について
- ① 告知端末を利用してもっと地区独自の行事など情報を流してほしい。
  - ② 合併前は希望館などのイベントがパソコンで見ることができたが、合併後は回覧されていないのでは。改善してほしい。
5. 児童クラブの早朝開所（朝7時から）と早朝勤務の人を雇用してほしい。
6. 保育料や子供の医療費を元に戻してほしい。
7. オールシーズン型のスポーツ施設、ジムや温泉スパを作してほしい。

## 大潟区

### 1. 海岸侵食対策について

直江津港から大潟漁港までは、「上越地域緊急海岸整備事業」により侵食対策としては一定の恒久対策が完成を見ました。しかし、大潟漁港以東柿崎海岸までは抜本的な対策がないまま侵食災害とその復旧工事の繰り返しという旧態依然の対応となっています。「安全・安心の住環境と憩いの空間としての海岸を」取り戻すために次の緊急対策と恒久対策を実施していただきたい。

#### (1) 緊急対策

- ①既設の人工リーフを見直し、消波ブロックなどを配置し、離岸提化すること。
- ②離岸提を効果的に配置し、侵食対策を講じること。

#### (2) 恒久対策

- ①ヘッドランド工法による侵食対策を図り、あわせて適切な養浜を行うこと。

### 2. 海岸砂防林の松くい虫対策について

近年海岸砂防林の松くい虫による立ち枯れが多く発生している。合併以前は海岸砂防林のほかに、民有林にあっても伐採のみは公費負担で処理していたが、現在は、海岸保安林のみ伐採と現地での薫じょう処理が行われているが、林内には累々と薫じょう処理品が横たわっている。

- (1) 伐採した松の木を運び出し、最終処分まで公費負担でしてほしい。

## 旧上越市他

- 1. 高田の市街地と中央病院を結ぶ巡回バスの運行を関係方面に働きかけること。場合によっては、市が直接運行することも検討すること。

2. 厚生南会館の代替施設を整備すること。
3. 道路改良など
  - ① 国道405号線の旧上越市内の拡幅改良、及び牧区などでの整備の進捗を図るよう国県に働きかけること。
  - ② 北本町通り、東本町通り、仲町通りなどの側溝を改修すること。
  - ③ 青田川以東の流雪溝整備計画を早急に策定すること。
  - ④ 加賀町の加賀橋、国府橋付近の河川の雑木除去、河床掘削を実施して下さい。
  - ⑤ 歩道の整備、国府別院から次の信号まで、整備して下さい。
4. 高田駅西口を整備し、高田駅にエレベーターを設置すること。
5. 10月29日の集中豪雨による被害は、これまでも排水不良が指摘されていて箇所がある。対策を強化すること。
  - ① 開発にあたっては、排水路の整備などを指導すること。
  - ② 大貫から流下する大瀬川や稲荷中江用水などの改修を早急に進めること。
  - ③ 高田城址の堀から流れ出る水戸の川の改修整備を緊急に行うこと。
6. 桑取ゆったり村への送迎バスの時間を、ゆっくりできるように改善して下さい。